

令和3年度春期 災害対策専門研修

マネジメントコース：ベーシック

主担当：主任研究員 ピニエイロ アベウ

時間\日付	6月8日(火)	6月9日(水)	6月10日(木)
9時25分		オリエンテーション	オリエンテーション
09時30分～10時45分	1限	<u>ゲーミング手法を活用した防災・減災ワークショップ</u> 矢守 克也 人と防災未来センター客員研究員(京都大学防災研究所巨大災害研究センター・教授) ・阪神・淡路大震災の事例を踏まえつつ、災害時の対応イメージを豊かにすることの重要性とその方法について、ゲーミング手法を活用して学ぶ	地震・津波への備えと対応 清野 純史 人と防災未来センター客員研究員(京都大学大学院工学研究科教授) ・地震・津波の発生メカニズムと、それによる物理的・社会的被害を理解する。
11時00分～12時15分	2限 10:40～11:00 開講式 11:00～12:15 オリエンテーション ピニエイロ アベウ 人と防災未来センター主任研究員		行政における災害対応業務の実際 後藤 武志 飯田市危機管理室 次長 ・大規模災害における行政対応の経験や、地域に向けての防災・減災活動の経験について学び、災害対応業務の実際について学ぶ。
13時15分～14時30分	3限 <u>災害対応+危機管理総論</u> 木村 玲欧 兵庫県立大学環境人間学部・大学院環境人間学研究科教授 ・災害対応・危機管理の基本的な考え方について概要を学ぶ。	<u>災害と男女共同参画</u> 齊藤 容子 人と防災未来センターリサーチフェロー(関西学院大学災害復興制度研究所主任研究員・准教授) ・災害時における男女共同参画の視点をこれまでの事例を踏まえて理解を深める。	<u>災害関連法体系基礎</u> 山崎 栄一 関西大学社会安全学部教授 ・災害関連法制の全体像を概観し、災害対策基本法の構造を知る。
14時45分～16時00分	4限 <u>被災者対応総論</u> 重川 希志依 常葉大学大学院環境防災研究科教授 ・災害時に行政が対応すべき被災者支援業務の内容とその流れについて理解する。	<u>風水害への備えと対応</u> 竹田 進 神戸地方気象台 防災気象官 ・風水害の発生過程とその被害を理解し、自治体の具体的対応(警報・避難等)を学ぶ。	<u>ふりかえりワーク</u> ピニエイロ アベウ 人と防災未来センター主任研究員 ・参加者の意見交換から、災害対応における姿勢を学ぶ。
16時15分～17時30分	5限 <u>災害史と社会</u> 福和 伸夫 人と防災未来センター客員研究員(名古屋大学 教授) ・過去の震災が歴史に与えた影響を学びつつ、現代の都市と社会の分析をとおして、その脆弱性と災害像を予測し、備えの方法を考える。	<u>災害時のこころのケア</u> 大澤 智子 兵庫県こころのケアセンター 上席研究主幹 ・災害発生初期の被災者に対する接し方及び災害対応業務を行う上でのマインドケアについて学ぶ	16:00～16:40 レポートタイム 16:40～16:55 閉講式
～17時45分	レポートタイム	レポートタイム	

※内容や時間帯については変更の可能性があります。

令和3年度春期 災害対策専門研修

マネジメントコース：エキスパートA

主担当：研究員 正井 佐知

時間\日付	6月15日(火)	6月16日(水)	6月17日(木)	6月18日(金)
9時25分	オリエンテーション			
09時30分～10時45分	1限	災害対応各論(医療活動) 甲斐 達朗 人と防災未来センター 客員研究員 (医療法人白卯会白井病院 院長代行) ・災害現場の医療活動体制について理解を深める	市民社会ワークショップ 立木 茂雄 人と防災未来センター 客員研究員 (同志社大学社会学部 教授) 山本 康史 ハロ-ボランティア・ネットワークみえ代表 平野 昌 ハロ-ボランティア・ネットワークみえ事務局 ・災害時の被災社会の対応において、ボランティアの果たす役割、市民の力の特徴と行政との関係のあり方について理解を深める	危機対応時の組織論(情報システム) 佐藤 翔輔 東北大学災害科学国際研究所 准教授 ・災害発生前後の情報の収集・整理と共有化の重要性を理解し、情報システムの活用方を学ぶ
11時00分～12時15分		10:40～11:00 開講式 11:00～12:15 オリエンテーション 正井 佐知 人と防災未来センター 研究員	危機対応各論(行政と自衛隊との連携) 渡邊 勲 福島県危機管理部災害対策課主幹 ・行政と自衛隊の連携について理解を深める	危機対応時の組織論(戦略的な広報について) 川西 勝 人と防災未来センター リサーチフェロー (読売新聞大阪本社編集局編集委員) ・災害時の情報提供方法、報道機関対応の課題を学ぶ
13時15分～14時30分	3限	災害過程総論<1h/～14:15> 高原 耕平 人と防災未来センター主任研究員 ・災害発生後の3つのフェーズ(初動期、応急期、復旧期)を理解し、各フェーズに必要な見直しを持った災害対応業務について学ぶ	災害対応各論(災害時の物流対応) 大里 賢示 公益社団法人 全日本トラック協会 交通・環境部 課長 ・災害直後から被災者の生活支援のための物流対応について、自治体担当部署のみならず民間運送会社などの能力も活用した実践的な事例を学ぶ	災害対応各論(被災者救護の実践的取り組み) 三上 晴由貴 新潟県県民生活・環境部廃棄物対策課課長補佐 ・災害救助法適用事例等から、法に定める応急救助の具体的な内容と、被災自治体に対する財政措置について理解を深める。
		<1.5h/14:30～> 災害対応概論(初動期・応急期)	災害対応各論(広域連携) 阪本 真由美 人と防災未来センター リサーチフェロー (兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科 教授) ・災害時の被災自治体の対応において、広域連携のあり方について理解を深める	
14時45分～16時00分	4限	民間企業と連携した災害対応 水谷 嘉浩 Jパック株式会社 代表取締役 全国段ボール工業組合連合会 防災担当アドバイザー ・民間企業と連携した平常時の減災対策や災害時の応急対策について、取り組み事例に基づき学ぶ	災害対応ワークショップ 楊 梓 人と防災未来センター主任研究員 ・演習を通じて目標管理型災害対応の考え方を身につける	全体振りかえりワーク 正井 佐知 人と防災未来センター 研究員 ・災害対応に関わるワークショップを行い、研修で得た知識を実践に活かす方法を考える
16時15分～17時30分		災害対応概論(復旧期・復興期) 澤田 雅浩 兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科 准教授 ・復旧・復興期の対応について、過去の実践事例などを紹介しながら、初動期、応急期の対応との関係、復旧・復興プロセスへ与える影響などについて学ぶ	災害対応演習(クマ演習) 河田 慈人 人と防災未来センター主任研究員 ・危機発生時の具体的な課題をもとに、災害対応の考え方について学ぶ	16:00～16:40 レポートタイム 16:40～16:55 閉講式
～17時45分	レポートタイム	レポートタイム	レポートタイム	

※内容や時間帯については変更の可能性があります。

令和3年度春期 災害対策専門研修
マネジメントコース: エキスパートB

主担当：主任研究員 寅屋敷 哲也

時間\日付		6月29日(火)	6月30日(水)	7月1日(木)	7月2日(金)
9時25分			オリエンテーション	オリエンテーション	オリエンテーション
09時30分～10時45分	1限		災害時要配慮者への対応 立木 茂雄 人と防災未来センター 客員研究員 (同志社大学社会学部 教授) ・災害時要配慮者の実態とそれを踏まえた対応について学ぶ	都市の復興概論+復興まちあるき 小林 郁雄 人と防災未来センター客員研究員 (兵庫県立大学 特任教授) ・阪神・淡路大震災の被災地を歩き、復興過程についての様々な取り組みを学ぶ	業務継続マネジメント論 紅谷 昇平 人と防災未来センターリサーチフェロー (兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科 准教授) ・各公共機関における災害時の業務継続の重要性について、また、その方法について、具体的な事例を交えて理解する
11時00分～12時15分	2限	10:40～11:00 開講式 11:00～12:15 オリエンテーション 寅屋敷 哲也 人と防災未来センター主任研究員	標準的な災害対応システム論 牧 紀男 人と防災未来センター上級研究員 (京都大学防災研究所教授) ・災害対応における標準的業務手順や対応手法について学ぶ		災害時のメディア対応 木戸 崇之 人と防災未来センターリサーチフェロー (株)エービーシー・リブラ ニュースデスク) ・メディアに振り回され、災害対応を複雑化させる負のスパイラルを離れ、マスメディアやその他の手段を活用して、被災者と職員の状況を好転させる情報の受発信方法を学ぶ
		休憩	休憩【12:45～13:15 交流ルーム設置(自由参加)】	休憩【12:45～13:15 交流ルーム設置(自由参加)】	休憩【12:45～13:15 交流ルーム設置(自由参加)】
13時15分～14時30分	3限	災害の対応事例と教訓 齋藤 富雄 関西国際大学 特命教授 (元兵庫県防災監) ・災害事例をもとに、災害対応の課題と対応方法の考え方について理解を深める ・事例をもとに意見交換を行い、災害対応のあり方について理解を深める	都市巨大災害論 河田 恵昭 人と防災未来センター長 ・事例を通じて災害による被害過程の全体像について理解する	図上訓練設計 藤原 宏之 人と防災未来センター リサーチフェロー (伊勢市危機管理部危機管理課 主査) ・行政職員に向けての図上訓練をどのように設計すればよいのか、具体的事例を交えつつ学ぶ	災害時の健康危機管理 神原 咲子 高知県立大学看護学部 特任教授/兵庫県立大学 減災復興政策研究科 特任教授 ・被災住民の健康危機管理に対する行政の支援について理解を深める
14時45分～16時00分	4限	避難の実態と課題 竹之内 健介 香川大学 創造工学部 講師 ・多様な災害種別や状況によって異なる避難行動の在り方や、避難情報の発信・伝達・内容などについて学ぶ	災害対策本部の空間構成設計演習 元谷 豊 株式会社サイエンスクラフト防災部長・首席コンサルタント ・災害対策本部のレイアウトの重要性、また適切なレイアウトについて、演習を交えて理解する	被災者行政の流れと課題 菅野 拓 人と防災未来センターリサーチフェロー(大阪市立大学大学院文化研究科 文学部 准教授) ・被災者の生活再建を見据えた行政業務の一連の流れと課題について、初期段階での留意点やマネジメントについて学ぶ	全体振りかえりワーク 寅屋敷 哲也 人と防災未来センター主任研究員 ・災害対応に関わるワークショップを行い、研修で得た知識を実践に活かす方法を考える
16時15分～17時30分	5限	地域防災計画論 今石 佳太 人と防災未来センターDisasterManager 芦屋市 総務部 コンプライアンス推進室 主査 (前熊本県益城町危機管理監) ・地域防災計画の法的な位置づけとそれを補完するプログラム、活用方策の事例を理解する。		NGO/NPOの災害対応と協働 明城 徹也 全国災害ボランティア支援団体ネットワーク (JVOAD) 事務局長 菅野 拓 人と防災未来センターリサーチフェロー(大阪市立大学大学院文化研究科 文学部 准教授) ・NGO/NPOに対する理解を深め、災害支援における民間と行政の連携について学ぶ	16:00～16:40 レポートタイム 16:40～16:55 閉講式
～17時45分		レポートタイム	レポートタイム	レポートタイム	
		17:45～18:15 交流ルーム設置(自由参加)	17:45～18:15 交流ルーム設置(自由参加)	17:45～18:15 交流ルーム設置(自由参加)	容や時間帯については変更の可能性があります。

令和3年度春期 災害対策専門研修
アドバンスト/防災監・危機管理監コース

主担当：主任研究員 高原 耕平

7月7日(水)	7月8日(木)
(9:30～ センター展示見学：希望者のみ)	9:30～11:00 90分
10:30～10:45 開講式 10:45～11:05 <u>オリエンテーション</u> 高原 耕平 人と防災未来センター 主任研究員	<u>行政対応特論②</u> 梅本 定雄 高槻市副市長 ・市町村における災害対応事例から課題や教訓を学ぶ。
11:15～12:25 70分 <u>目標管理型災害対応論</u> 河田 慈人 人と防災未来センター 主任研究員 ・目標管理型災害対応の考え方やその具体的内容について、過去の災害事例を踏まえ理解する。	11:15～12:30 75分 <u>災害対応特論</u> 室崎 益輝 兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科長 ・災害の状況に応じて既存法制度の限界部分、対応策についての指示、判断ができるようになるための考えを深める。講義は討論形式で行う。
休 憩	
13:30～15:00 90分 <u>危機対応組織論</u> 河田 恵昭 人と防災未来センター センター長 ・危機対応をする上で首長を補佐する職にある人が必要とする能力について理解する。	13:30～16:00 150分 (途中休憩あり) <u>災害対応検討ワークショップ</u> 室崎 益輝 兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科長 正井 佐知 人と防災未来センター 研究員 高原 耕平 人と防災未来センター 主任研究員 ・演習を通じて目標管理型災害対応の考え方を身につける。
15:10～15:15 グループ内自己紹介	
15:15～17:30 135分(途中休憩を含む) <u>行政対応特論①</u> 齋藤 富雄 関西国際大学 特命教授 (元兵庫県防災監) ・県における大規模災害時の対応事例を知り、災害発生後の対応や課題と首長に助言すべき内容を学ぶ。講義は討論形式で行う。	16:00～16:15 レポートタイム 16:15～16:30 閉講式
17:30～17:45 レポートタイム	

※内容や時間帯については変更の可能性があります。

令和3年度秋期 災害対策専門研修

マネジメントコース:エキスパートA

主担当: 研究員 伊藤 潤

時間\日付		10月5日(火)	10月6日(水)	10月7日(木)	10月8日(金)
9時25分			オリエンテーション	オリエンテーション	オリエンテーション
09時30分～10時45分	1限	10:40～11:00 開講式	<p><u>災害対応各論(想像力の欠如に陥らない防災)</u> 岩田 孝仁 人と防災未来センター上級研究員 (静岡大学 防災総合センター 特任教授)</p> <p>・災害を想定外にせず、地域社会の中で何が起きどのように連鎖していくのかを、様々な知見や科学的リテラシーをフルに使って想像力たくましく考え、確実に備えておくことが重要。そのヒントになる事例を基に考える</p>	<p><u>災害対応各論(広域連携)</u> 阪本 真由美 人と防災未来センターリサーチフェロー (兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科 教授)</p> <p>・災害時の被災自治体の対応において、広域連携のあり方について理解を深める</p>	<p><u>危機対応時の組織論(情報システム)</u> 佐藤 翔輔 東北大学災害科学国際研究所 准教授</p> <p>・災害発生前後の情報の収集・整理と共有化の重要性を理解し、情報システムの活用方を学ぶ</p>
11時00分～12時15分	2限	11:00～12:15 オリエンテーション 伊藤 潤 人と防災未来センター研究員	<p><u>災害対応各論(健康医療支援活動)</u> 高鳥毛 敏雄 人と防災未来センター上級研究員 (関西大学社会安全学部 社会安全研究科 教授)</p> <p>・災害発生時、救命救急を含む地域医療、地域保健、地域ケアなどの諸活動が被災地で展開されるが、その現状と課題について学ぶ</p>	<p><u>災害対応各論(住民協働と主体性)</u> 片田 敏孝 人と防災未来センター上級研究員 (東京大学大学院情報学環特任教授)</p> <p>・行政主導から住民主体の防災への転換について理解を深める</p>	<p><u>危機対応各論(行政と自衛隊との連携)</u> 渡邊 勲 福島県危機管理部災害対策課主幹</p> <p>・行政と自衛隊の連携について理解を深める</p>
		昼休憩	昼休憩	昼休憩	昼休憩
13時15分～14時30分	3限	<p><u>災害過程総論</u> 寅屋敷 哲也 人と防災未来センター主任研究員</p> <p>・災害発生後の3つのフェーズ(初動期、応急期、復旧期)を理解し、各フェーズに必要な見通しを持った災害対応業務について学ぶ</p>	<p><u>災害時対応各論(支援物資物流のポイント)</u> 矢野 裕之 株式会社日通総合研究所 シニアコンサルタント</p> <p>・過去の災害において避難所へ必要な物資が円滑に届かない事態が繰り返されてきた理由と、そのような事態を防ぐためのポイントについて学ぶ</p>	<p><u>危機対応時の組織論(戦略的な広報について)</u> 木戸 崇之 人と防災未来センターリサーチフェロー (株式会社エービーシー リブラ 制作部「おはよう朝日です」担当 気象情報デスク(朝日放送テレビ報道局より出向))</p> <p>・災害時の情報提供方法、報道機関対応の課題を学ぶ</p>	<p><u>災害対応各論(災害応急対応に係る財政措置)</u> 三上 晴由貴 新潟県県民生活・環境部廃棄物対策課課長補佐</p> <p>・被災者の多様なニーズに対応するためには、裏付けとなる予算に関する知識も必要である。災害救助法を中心に、被災自治体に対する財政措置について理解する</p>
		<1.5h/14:30～>			
14時45分～16時00分	4限	<p><u>災害対応概論(初動期・応急期)</u> 古越 武彦 人と防災未来センターリサーチフェロー (長野県危機管理部危機管理防災課 火山防災幹)</p> <p>・実災害をケーススタディとして、初動期・応急期における目標管理型の災害対応の重要性や、関係機関との連携、受援体制構築の必要性を学ぶ</p>	<p><u>民間企業と連携した災害対応</u> 水谷 嘉浩 Jパックス株式会社 代表取締役 全国段ボール工業組合連合会 防災担当アドバイザー 避難所・避難生活学会理事</p> <p>・民間企業と連携した平常時の減災対策や災害時の応急対策について、取り組み事例に基づき学ぶ</p>	<p><u>災害対応ワークショップ</u> 伊藤 潤 人と防災未来センター研究員</p> <p>・演習を通じて目標管理型災害対応の考え方を身につける</p>	<p><u>全体振りかえりワーク</u> 伊藤 潤 人と防災未来センター研究員</p> <p>・災害対応に関わるワークショップを行い、研修で得た知識を実践に活かす方法を考える</p>
16時15分～17時30分	5限	<p><u>災害対応概論(復旧期・復興期)</u> 澤田 雅浩 兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科 准教授</p> <p>・復旧・復興期の対応について、過去の実践事例などを紹介しながら、初動期、応急期の対応との関係、復旧・復興プロセスへ与える影響などについて学ぶ</p>	<p><u>災害対応演習(クマ演習)</u> ピニエイロ アベウ タイチ コンノ 人と防災未来センター主任研究員</p> <p>・危機発生時の具体的な課題をもとに、災害対応の考え方について学ぶ</p>		16:00～16:15 閉講式 16:15～16:55 レポートタイム
～17時45分		レポートタイム/交流タイム	レポートタイム/交流タイム	レポートタイム/交流タイム	

※内容や時間帯については変更の可能性があります。

令和3年度春期 災害対策専門研修 カリキュラム案
マネジメントコース: エキスパートB

主担当：研究員 林田 怜菜

時間\日付	10月19日(火)	10月20日(水)	10月21日(木)	10月22日(金)
9時25分		オリエンテーション	オリエンテーション	オリエンテーション
09時30分～10時45分	1限 10:40～11:00 開講式	災害対策本部の空間構成設計演習 元谷 豊 株式会社サイエンスクラフト防災部長・主席コンサルタント ・災害対策本部のレイアウトの重要性、また適切なレイアウトについて、演習を交えて理解する	広域避難と生活再建 越山 健治 人と防災未来センター上級研究員 (関西大学社会学部 教授) ・被災者の仮住まいや広域避難、生活再建の実態から、応急対応・復旧期の行政対応の重要性とその具体策を学ぶ	災害時の健康危機管理 神原 咲子 高知県立大学看護学部 特任教授/兵庫県立大学減災復興政策研究科 特任教授 ・被災住民の健康危機管理に対する行政の支援について理解を深める
11時00分～12時15分	2限 11:00～12:15 オリエンテーション 林田 怜菜 人と防災未来センター研究員		都市巨大災害論 河田 恵昭 人と防災未来センター長 ・事例を通じて災害による被害過程の全体像について理解する	業務継続マネジメント論 渡辺 研司 人と防災未来センター上級研究員 (名古屋工業大学大学院 社会学専攻教授) ・各公共機関における災害時の業務継続の重要性について、また、その方法について、具体的な事例を交えて理解する
	休憩	休憩	休憩	休憩
13時15分～14時30分	3限 標準的な災害対応システム論 牧 紀男 人と防災未来センター上級研究員 (京都大学防災研究所教授) ・災害対応における標準的業務手順や対応手法について学ぶ	被災者行政の流れと課題 菅野 拓 人と防災未来センターリサーチフェロー (大阪市立大学大学院文化研究科 文学部 准教授) ・被災者の生活再建を見据えた行政業務の一連の流れと課題について、初期段階での留意点やマネジメントについて学ぶ	図上訓練設計 藤原 宏之 人と防災未来センター リサーチフェロー (伊勢市危機管理部危機管理課 主査) ・行政職員に向けての図上訓練をどのように設計すればよいのか、具体的事例を交えつつ学ぶ	避難の実態と課題 竹之内 健介 香川大学 創造工学部 講師 ・多様な災害種別や状況によって異なる避難行動の在り方や、避難情報の発信・伝達・内容などについて学ぶ
14時45分～16時00分	4限 災害時要配慮者への対応 田村 圭子 人と防災未来センター 上級研究員 (新潟大学危機管理本部危機管理室 教授) ・災害時要配慮者の実態とそれを踏まえた対応について学ぶ	NGO/NPOの災害対応と協働 明城 徹也 全国災害ボランティア支援団体ネットワーク (JVOAD) 事務局長 菅野 拓 人と防災未来センターリサーチフェロー (大阪市立大学大学院文化研究科 文学部 准教授) ・NGO/NPOに対する理解を深め、災害支援における民間と行政の連携について学ぶ	都市の復興概論+復興まちあるき 小林 郁雄 人と防災未来センター客員研究員 (兵庫県立大学 特任教授) ・阪神・淡路大震災の被災地を歩き、復興過程についての様々な取り組みを学ぶ	全体振りかえりワーク 林田 怜菜 人と防災未来センター研究員 ・災害対応に関わるワークショップを行い、研修で得た知識を実践に活かす方法を考える
16時15分～17時30分	5限 地域防災計画論 今石 佳太 人と防災未来センターDisasterManager 芦屋市 総務部 コンプライアンス推進室 主査 (前熊本県益城町危機管理監) ・地域防災計画の法的な位置づけとそれを補完するプログラム、活用方策の事例を理解する。	災害時のメディア対応 山崎 登 人と防災未来センター上級研究員 (国土館大学防災・緊急救助総合研究所 教授) ・メディアに振り回され、災害対応を複雑化させる負のスパイラルを離れ、マスメディアやその他の手段を活用して、被災者と職員の状態を好転させる情報の受発信方法を学ぶ		16:05～16:20 閉講式 16:20～16:55 レポートタイム
～17時45分	レポートタイム/交流タイム	レポートタイム/交流タイム	レポートタイム/交流タイム	

※内容や時間帯については変更の可能性があります。